

# 小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 一問一答方式

質問件名 中学生が待ち遠しいと思える給食時間となるための新給食センター整備に向けて

## 【質問要旨】

現在の小平市立学校給食センターは建設から36年が経過し早急な建て替えが検討されていましたが、代替用地が見つからず現在地での整備が決まりました。

新しい給食センター整備にあたってはPFI手法を取り入れ、衛生管理の徹底、アレルギー対応、災害時に備えたエネルギー源の確保など、現在の給食センターの課題に対応できる施設の整備を行うとの説明を聞いています。

また、2020年度の設計から2022年度の建物完成、給食の供用開始までの間は代替給食期間が約1年10か月間予定されており、現在の小学校2年生から小学校6年生の子どもが対象になることが分かっています。

学校給食は昼食を摂取する目的以外に食を通じて地域等を理解することや、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解することも含まれています。また近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。こうした食育の観点からも学校給食は重要な役割を担っています。

中学生の子ども達が待ち遠しいと思えるような給食を提供していくために以下質問をします。

- 1 整備手法は、設計・建設・維持管理・運營業務を一括で行うPFI手法を用いるとありますが事業方式は何を選択しますか。またそれを選んだ理由と課題は何ですか。
- 2 災害時の対応について。
  - ①災害時に備えたエネルギー源とは何ですか。
  - ②災害協定を結ぶ計画はありますか。
- 3 エコダイラオフィス計画に則りどのような環境に配慮した取り組みを具体的に行っていきますか。
- 4 アレルギーへの対応として除去食を提供するとありますが1日に何人分の調理を行えますか。
- 5 代替給食に4400食必要になりますが、その供給先の現在の目処は。
- 6 新給食センターの給食は現在と変わらず手作り給食となりますか。
- 7 給食の時間が短いと聞いていますが食育の観点からもう少しゆとりを持たせられないか上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成 29 年 11 月 16 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【           】

27	26	25	24

-(        /        )